

文 華

ぶんか



「偃武修文」

辻 敬齋

令和八年七月二十五日 印刷
令和八年八月一日 発行
毎月一回一日発行（文華）
第七十三巻 第八号

書道研究

真弓書道會事務所発行

8

2026
(867号)

第五十三回 日本の書展 茨城展

（とき／令和八年四月十一日(土)～十三日(月)
ところ／ザ・ヒロサワ・シティ会館）

〈茨城書壇招待作家展〉



辻 敬齋

〈茨城書壇代表作家展〉



中山 白堂

〈茨城書壇選拔展〉

奨励賞（二回目）



辻 いづみ



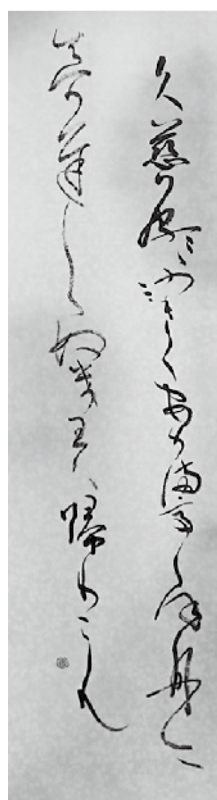
北見 清園



石井 春秀



今橋 知鄒



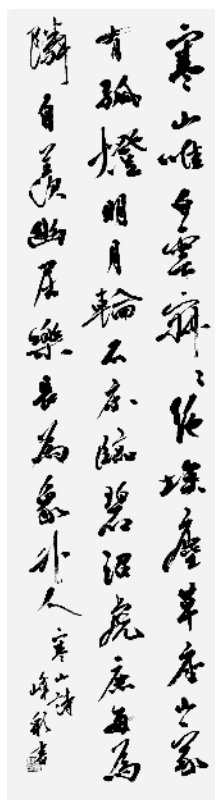
佐藤 祥玉



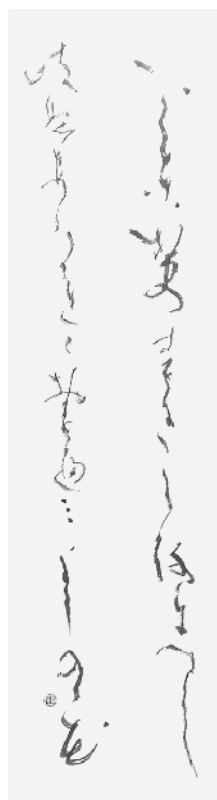
大津 桂風



豐崎 峰彩



辻 慶將



小林 瑞幸

地近得頻到相携白野亭
河分因勢斷春入燒
痕青望久人收釣
竿餘鴈振翎不悲歸
路晚明日日前汀
瑞幸書

山田 安里

名樹高留葉寒藤細作
衣沙平時泊石野
迥日撥鵝鵝食秋
香盡行吟日又斜
平戈心飄忽不用
苦回家
山田安里書

八文字 聖媛

曙鳥子床呼應石
我場平是河奔
蒼雲夢忽死場
新通侯上決大洋
鄉願川湯沐盡
空美物願
八文字聖媛書

塩原 正裕

壯望隨南斗
思欲送春
往巖外
人在海門
西幾日
依山盡
春火山水
無邊
知仙館
夢衣
性張帝
書
塩原正裕書

江幡 里奈

層林纖月
清夜露
靜琴張
暗
水瀾
夢徑
蒼墨
帶草
苗穠
燭
燭
短
眉
勦
引
孟
孟
蠟
燭
閑
吳
醵
扁
易
覆
不
定
江幡里奈書

平山 里彩

高樓聊引
望查一川
平遠水
無人渡
孤月
盡日橫
荒邨
生斷
窮深
樹語
流鶯
舊
業
途
清
渭
波
思
念
自
驚
平山里彩書

江幡 鑄卿



近藤 朋齋



第26回 茨城新聞学生書道紙上展



優秀賞

高久 有愛



優秀賞

岡本 結愛



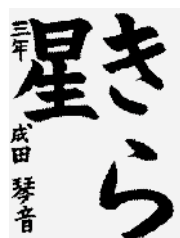
優秀賞

下和田陽育



茨城県議会議長賞

佐原 叶歩



優秀賞

成田 琴音



優秀賞

黒澤 瑛斗



優秀賞

高橋 結美



優秀賞

中根 光梨



茨城新聞社長賞

岡崎ゆめか



優秀賞

鳥山 紗愛



優秀賞

越野 愛湊



優秀賞

小林 杏実



優秀賞

佐藤 遙



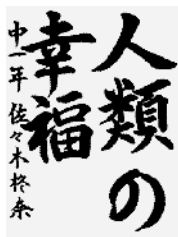
優秀賞

黒澤 蘭



優秀賞

宮本 桜希



優秀賞

佐々木柊奈



優秀賞

小西 梓



優秀賞

吉川 紗那



優秀賞

関根 怜那

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

〔隷書〕 楊峴【隷書七言詩摺扇】

辻 敬 齋 臨

誰 知 著 仁 脩 文 殿 物
論 翻 歸 祖 孝 徵

◎ 釈文 誰知著作脩文殿。物論翻歸祖孝徵

〔筆・敬仁文會（三八五〇円）使用〕

〔楷書〕 李璧墓誌銘

辻 敬 齋 臨

祖 親 廣 平 游 氏 祖 雄
東 莞 太 守 祖 親

◎ 釈文 祖親。廣平游氏。祖雄。東莞太守。祖親。
・読み 祖の親は、広平の游氏。祖の雄は、東莞太守。祖の親は、

〔筆・敬仁文會（三八五〇円）使用〕

作品の左側に所属・段級・姓号を鉛筆で書いて下さい。

【作品送付の際のお願い】 事務所へ作品送付の際は、必ず封筒に「〇月号競書」、「昇格試験作品」と朱書きするようにお願いいたします。競書作品の中に昇格試験作品を入れること、またその逆も避けてください。御協力の程をお願いいたします。

規定部

①

九成宮醴泉銘

(107)

欧陽詢

辻

敬
齋
臨

激揚清波滌

激揚清波滌

・釈文 「激揚清波。滌」
◎読み 清波を激揚し（げきやう）
（かみ）を。滌（できとう）
（とうす）

— 師範から準初段まで —

● 8月25日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を（楷書で）書いて下さい。（号だけでは審査減点）

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

規定部

②

夜涼風露清

辻 敬齋 書



条幅参考

◎ 釈文
夜涼しく風露清し
・解
夜は涼しく風も草木に降りる露もすべてが澄みきって清らかである。

— 1 級から 10 級まで —

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の 9 種セット）ご希望の方は 350 円で御送りします。

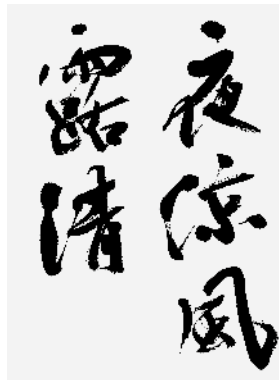
● 8 月 25 日締切（事務所必着）

（注）下記の隷書、行書、草書を出品する場合は「文華随意」の付せんを使用してください。

草 書

行 書

隷 書



随意部参考
（随意付箋使用）

鏡三千之光

鏡 三千之光

・ 釈文 「鏡三千之光。」
◎ 読み 三千の光を鏡らさず。

● 8月25日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を行書で書いて下さい。（号だけでは審査減点）

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

臨書部

十七帖(8) 王羲之

辻 敬 齋 臨

保ふ永安也

保ふ永安也

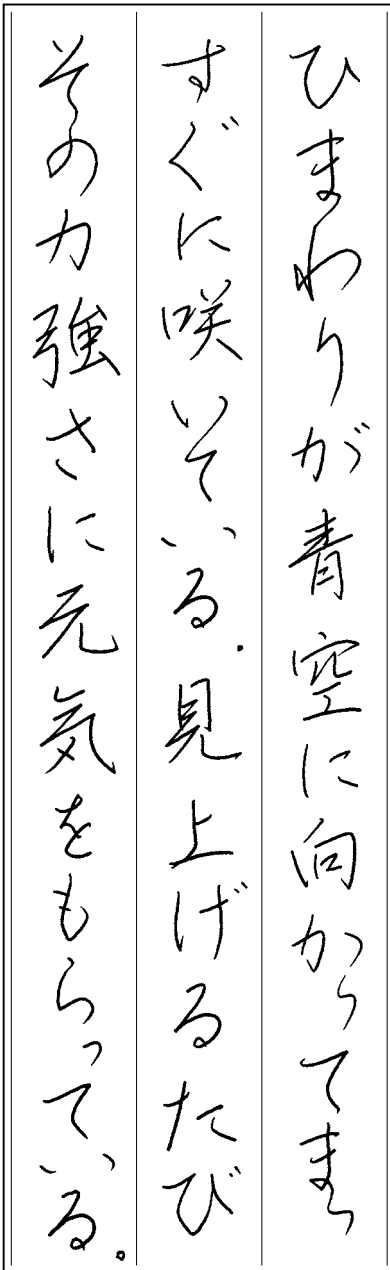
・ 釈文 「保等平安也。」
◎ 読み 保等は平安なり。

● 8月25日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を草書で書いて下さい。（号だけでは審査減点）

ペン字部

< 随意部 >



(手本は130%に拡大すると用紙の大きさになります)

< 規定部 >



(手本は128%に拡大すると用紙の大きさになります)

辻 いづみ書

ペン字部(規定部)と(随意部)は同一段級となります。
作品の段級は、段位は「漢数字」、級位は「算用数字」で書いてください。

● 8月25日締切(事務所必着)

4、5日早目に御送り下さい。(締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります)

※検定用紙、規定はマス型、随意は3行型検定用紙を使用して下さい。検定用紙(50枚230円・送料別)は事務所までご請求下さい。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

実 用 書 部

葉月 立春 処暑
満月は中秋の名月と呼ばれ
古来より日本人の心を動かし
てきた。月が美しく見える時期。
主 部 段 級 姓 名

辻 敬 齋 書

※用紙 半紙タテ書（普通半紙を使用のこと）

●8月25日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。

（実用書部は規定部と別ですので、
独自の段級を書いて下さい。）

作品の段級は、段位は「漢数字」、
級位は「算用数字」で書いてください。

◎ 釈 文

あるいは寄せて託する所に因り、形骸の外に放浪す。趣舍万殊にして、静躁同じからずと雖も、
其の（遇う所を）欣び、（暫く己に得るに）当たりて



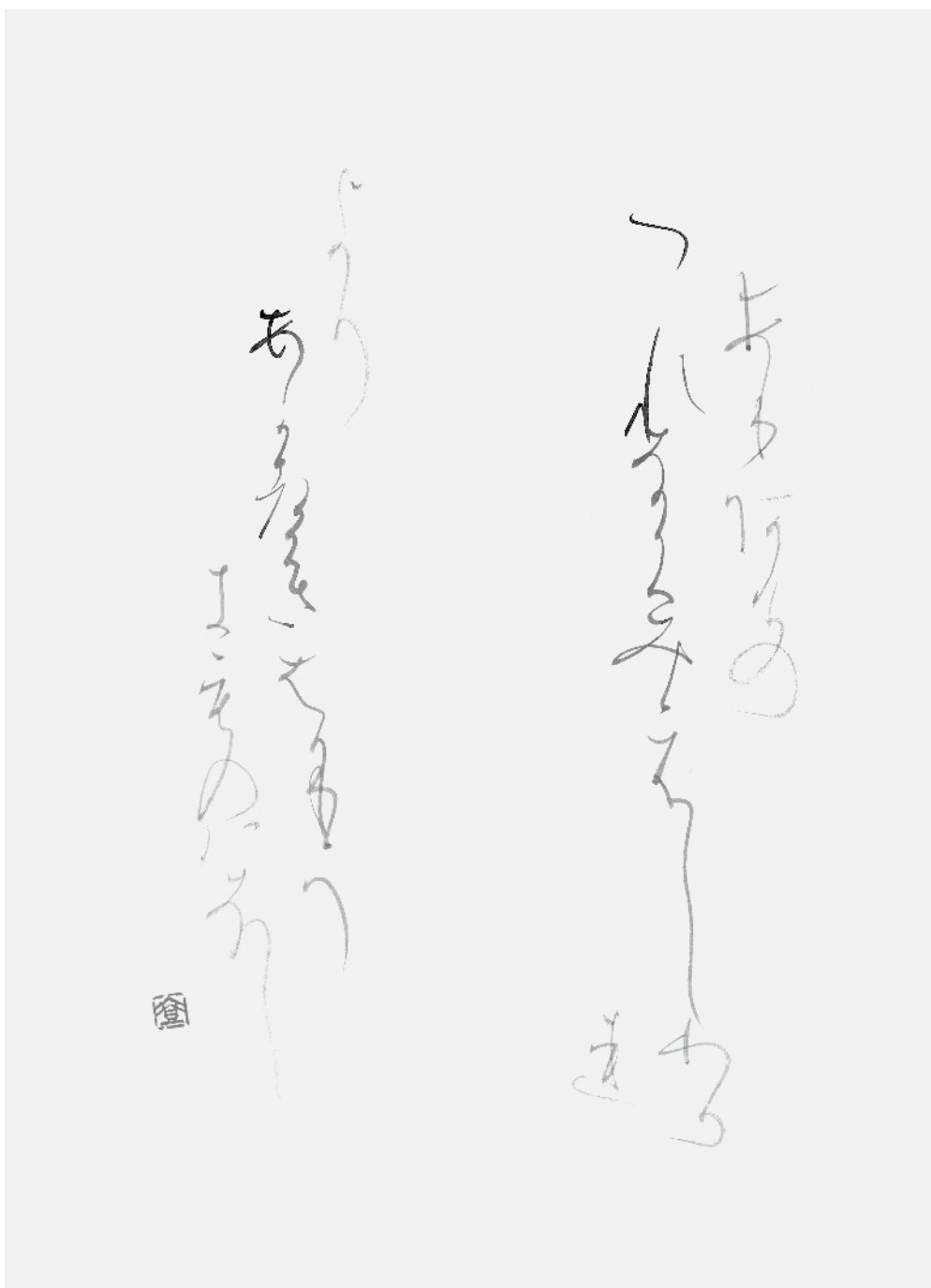
細 字 部

〔行書〕 蘭亭叙 或因寄所託。放浪形骸之外。雖趣舍万殊。静躁不同。当其欣

●8月25日締切（事務所必着）

半紙タテ ½

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に
発表するか没書になります）名前は、所属、段級、姓号又
は姓名を（行書で）書いて下さい。（号だけでは審査減点）



◎ 積文

・ 歌意

ありあけのつれなくみえしわかれよりあかつきばかりうきものはなし
利阿介 奈久 可連 可都 者可利 支毛 八奈

ありあけの月が思いやりの気持もなく照っているように見えた惜別のとき以来、私には夜明け方ほど憂く思われるものはない。

● 8月25日締切（事務所必着）

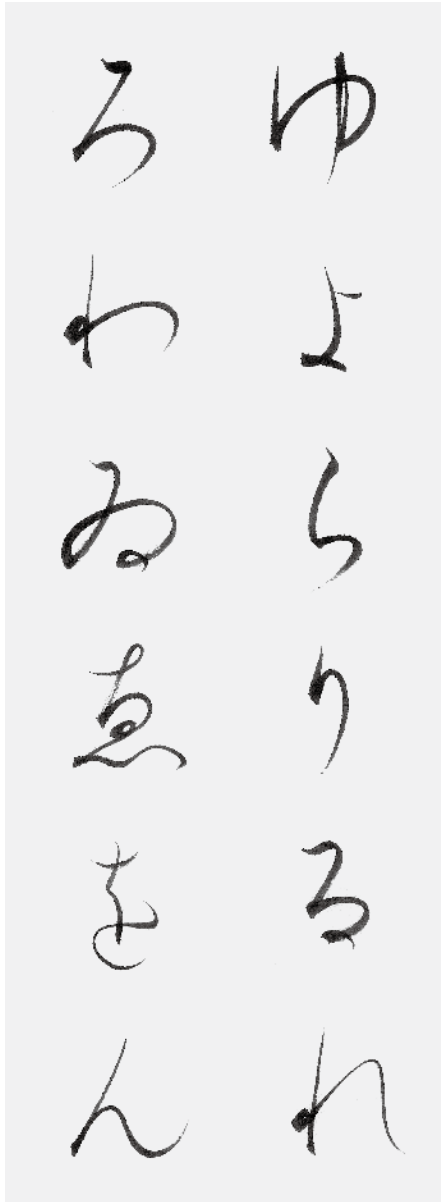
4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）
名前は、所属、段級、姓号又は姓名を鉛筆で書いて下さい。（号だけでは審査減点）

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。

かな部課題

◎ 釈文
ゆよ らりるれろ わゐゑをん

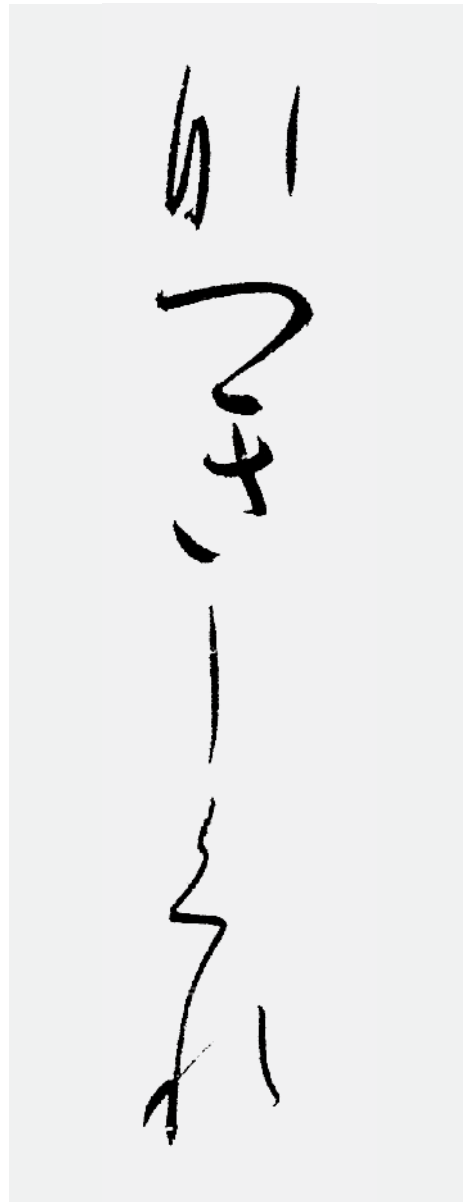


かな部
③

一級～十級まで一（半紙縦1/2）

辻 敬齋 書

◎ 釈文
なづきしぐれ



かな部
② 高野切第三種

一三段から準初段まで一（半紙縦1/2）

● 8月25日締切（事務所必着）

4、5日早目にお送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）

かなの段級は漢字の段級とは異なりますのでご注意下さい。

半紙作品の左側に所属、段級、姓号または姓名を鉛筆で書いて下さい。（号だけでは審査減点）

コピー手本（規定①②、随意、臨書、かな①②③、実用書、細字の9種セット）ご希望の方は350円で御送りします。

學生部硬筆課題

かつて、伊澤清玲先生が「歴史の流れを把握して書くことにより、さらに古典の名蹟の理解を深めることができる」とおっしゃっていました。中国書道史略年表を掲載いたしますのでご参考にして下さい。

中学 2・3 年

友達と紙飛行機を作った
追い風が吹いたら、遠くへ
向けて飛ばそう。

辻
い
づ
み
書

(手本は 182%に拡大すると用紙の大きさになります)

●8月25日締切（事務所必着） 4、5日早目に御送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）

※検定用紙を使用して下さい。検定用紙（50 枚 230円・送料別）は事務所までご請求下さい。

段級改正に伴い、準初段からは写真版になっても昇段いたしません。○または昇格試験によつての昇段となります。

東晉	西晉	三國 (魏・蜀・吳)	後漢	新	前漢	秦	秦・魏・韓・趙・燕・齊	前500	前1000	年代
東晉	西晉	三國 (魏・蜀・吳)	後漢	新	前漢	秦	秦・魏・韓・趙・燕・齊	前500	前1000	年代

学 生 部 硬 筆 課 題

幼 年

き	う		
り	ま		
ん			

小学1年

	い		
	で	こ	
		う	
	あ	え	
	そ	ん	
	び	の	
	ま	す	
	し	べ	
	た	り	
		だ	

小学2年

	し	と	
	ま		貝
	し	な	が
	た	み	ら
		の	を
		よ	耳
		う	に
		な	あ
		音	て
		が	る

小学3年

	よ	を	
	く	作	ペ
	回	り	ッ
	り	ま	ト
	ま	し	ボ
	す	た	ト
			ル
		と	で
		て	風
		も	車

辻 いづみ書

作品の段級は、段位は「漢数字」、級位は「算用数字」で書いてください。
宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、
極力郵便かレターパックライトでの送付をお願いします。

(手本は 200% に拡大すると用紙の大きさになります)

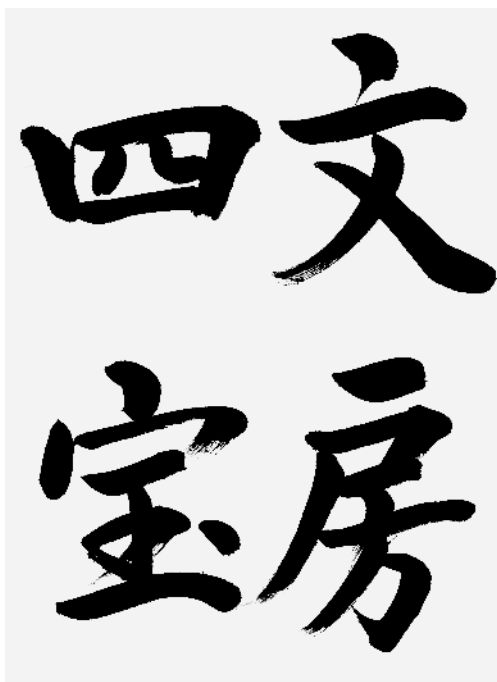
●8月25日締切（事務所必着） 4、5日早目に御送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）

※検定用紙を使用して下さい。検定用紙（50枚 230円・送料別）は事務所までご請求下さい。

段級改正に伴い、準初段からは写真版になっても昇段いたしません。○または昇格試験によつての昇段となります。

中 学 1 年

中学 2 ・ 3 年



(ぶん ぼう し ほう)
(文 房 四 宝)

辻 敬齋 書

小 学 5 年



(ま な つ た い よ う)
(真 夏 の 太 陽)

辻 敬齋 書

小 学 6 年



(う つ し い こ ろ)
(美 し い 心)

岡田 貴桜先生書



(こ ろ に た い よ う)
(心 に 太 陽)

小玉 幸桜先生書

宅急便、ゆうパック、レターパックプラスでは受け取りが難しい為、極力郵便かレターパックライトでの送付をお願い致します。
○段級改正に伴い、準初段からは写真版になっても昇段いたしません。○、㊦または昇格試験によつての昇段となります。
○作品には必ず所属、段級、氏名をはっきり書いて下さい。

●8月25日締切（事務所必着）
4、5日早目に御送り下さい。（締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります）

1000

900

800

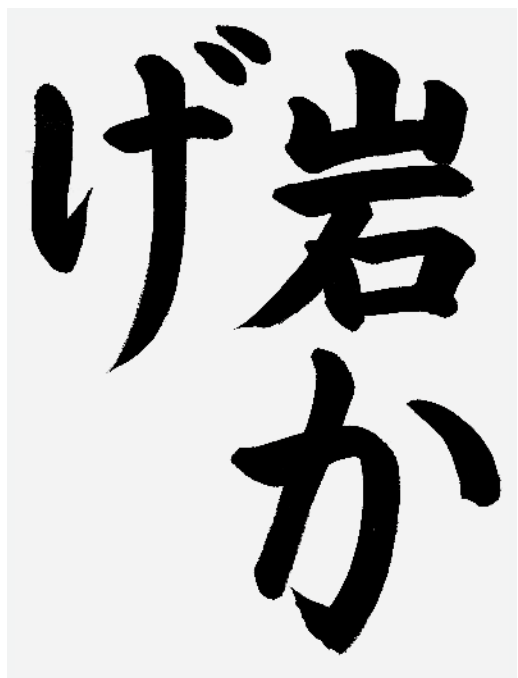
五 代 十 国

唐

小 学 3 年

小 学 4 年

※段級における「準」を書くことが難しい場合は、「じゅん」または「じ」として下さい。(例 じゅん五、じ五)
○作品には必ず所属、段級、氏名をはっきり書いて下さい。



(い 岩 か げ) 石井 春秀先生 書



(い 生 きる ちから 方) 岩田 紀風先生書

幼 年

年

小 学 1 年

小 学 2 年



(い ろ)

辻 いづみ 書



(せ み)

日比野妃扇先生 書



(う み べ)

川口 麗洋先生 書

【作品送付の際のお願い】 事務所へ作品送付の際は、必ず封筒に「○月号競書」、「昇格試験作品」と朱書きするようにお願いいたします。競書作品の中に昇格試験作品を入れること、またその逆も避けてください。御協力の程をお願いいたします。

● 8 月 25 日締切 (事務所必着)

4、5日早目に御送り下さい。(締切後着は氏名だけ後尾に発表するか没書になります)

1900	1800	1700	1600	1500	1400	1300	1200	1100
中華人民共和國 (台湾)	吳昌碩	鄧石如	王鐸	明	元		宋	米芾

成家作品

閑草徧庭終勝俗好書
堆案轉甘貧

林通翠珠書

景山 翠珠

五月四日希屋書為尉審道以清正
隨隨也林君為能言之他至此見未有
所山蹄濟不能容吞舟周士泛海

榛澤 雅芳

黑雲翻墨未遮山白
雨跳珠亂入船

松山

栗山 谿邑

於於也々々物何
定相々々々物何

石井 春秀

順耀壞墻三戸入
天百支塔損精漿

中山 白堂

匹馬子予一筆覆瓢因
為落筆不徒何物也

松浦 翠榮

名人讀書靜室過對
酒滿壺頻近海味留

今橋 知鄒

ふくみふくみふくみ
ふくみふくみふくみ

竹内 一

撫育解寫以家錢糴米粟
賜瘠盲大女挑斐等

辻 いづみ

善の微
前ふや
目射
朝の庭

榛澤 雅芳

絨得哀
脩短

中村 曉雲

潺果以
青松朱

石井 春秀

止陟
宮車

今橋 知鄒

竹内 一

竹内 一

財出王
家錢給

辻 いづみ

教範作品

可以學于世而不知痛
其世尚且十之九也

日下 禮子

去年春莫書于洛州
暑抱一張之祖招飲

袖山 真翠

前見寒光之似因所
感也一有夕而約次

荒川 清舟

福海細江市井未即古
月風無謙大江東去

山中 京翠

黃社閣
知之同

日下 禮子

光和大
丰源

袖山 真翠

初指揮
去到洞

荒川 清舟

如初小
直觀弓

山中 京翠

之然未規之妍觀井之
後已少之紀觀之塘

真榮城芳紅

義民脩繕故祠遂采
嘉石這丘觀開

岡田 貴桜

可以一舟至海三日海煙
之自山東來在磐邑

千葉 春苑

間一百歲將無得未虛
好懶理作壬午秋夜

佐藤 祥玉

全靜居
自逸

真榮城芳紅

孫之面
乃敦

岡田 貴桜

相得忘
形軀

千葉 春苑

即歸國
臣伏見

佐藤 祥玉

参与作品

我身是老之有
國之山松下庵

赤嶺 心峰

早綜銓衡能聲微著
敦詩悅礼尤精易理

福原 瑞堂

法細之綱紀弘六
度之正教拯羣有
之塗蒙留三歲之
祇居是以名無翼

赤嶺 心峰

司州榮
陽開封

福原 瑞堂

参事作品

離家至笛暗飛聲
門前舊柳桐城

益子 睦架

字之有根之名之有源

貝沼 春翠

墨悲
絲絲

益子 睦架

字之有根之名之有源

貝沼 春翠

本會同人条幅・半紙參考作品

黒雲翻墨未遮山白
雨跳珠亂入船 紀風書

岩田 紀風

義民脩繕故祠遂采
嘉石造立觀闕 於山臨

小古瀬修山

為漢制佐先世所尊
祠用衆牲長吏 蒼流書

佐藤 蒼流

容止若思言辭安定萬初
容心若思言辭安定萬初 翠蓉書

川越 翠蓉

天地日月人男共遊り星
少女の隠れ見え 桂風書

大津 桂風

月夜之夢字角流
月夜之夢字角流 芳嶽書

儀保 芳嶽

禪名立哉柯旦梅晴
分て目と手切 令慧書

桑原 令慧

雙關貫
穿青 紀風書

岩田 紀風

孫多面
子義 於山臨

小古瀬修山

義業
竹拜 蒼流書

佐藤 蒼流

癸巳春
秋五十 翠蓉書

川越 翠蓉

匿感
口二 桂風書

大津 桂風

何
何 芳嶽書

儀保 芳嶽

經是
市 令慧書

桑原 令慧

黒雲翻墨未遮山白
雨跳珠亂入船 聖媛書

八文字聖媛

黒雲翻墨未遮山白
雨跳珠亂入船 翔風書

渡部 翔風

文心慟淚螢紀寒魯
墳旌孔鐫銘泉 麗洋書

川口 麗洋

義民脩繕故祠遂采
嘉石造立觀闕 安里書

山田 安里

時疏勒王和徳秋又
位供職貢君興 瑞幸書

小林 瑞幸

素
素 素洞書

岡山 素洞

黒雲翻墨未遮山白
雨跳珠亂入船 幸桜書

小玉 幸桜

中
中 聖媛書

八文字聖媛

真遷儀
越世 翔風書

渡部 翔風

射射瑕
匿六 麗洋書

川口 麗洋

一
一 安里書

山田 安里

真遷儀
越世 瑞幸書

小林 瑞幸

素
素 素洞書

岡山 素洞

真遷儀
越世 幸桜書

小玉 幸桜

本會審查會員 条幅・半紙作品

黑雲翻墨未遮山白
西跳珠亂入船
清翠書

竹島 清翠

黑雲翻墨未遮山白
西跳珠亂入船
誠喜書

清水 誠喜

黑雲翻墨未遮山白
西跳珠亂入船
正裕書

塩原 正裕

黑雲翻墨未遮山白
西跳珠亂入船
陽江書

小室 陽江

文心慟汲瑩紀襄魯
墳旌孔鏤銘泉
清香書

大森 清香

この夏の目覚めのにまもあまは
代もくまに朝やけつゆ
晶湖書

富田 晶湖

黑雲翻墨未遮山白
西跳珠亂入船
雲泉書

渡部 雲泉

彌復
森書

森 聖燦

為難
清翠書

竹島 清翠

之靈
誠喜書

清水 誠喜

越世
陽江書

塩原 正裕

我明聖
清香書

小室 陽江

感令及
美翠書

大森 清香

又
雲泉書

土田 美翠

義民脩繕故祠遂采
嘉石造丘觀闢
里彩書

平山 里彩

黑雲翻墨未遮山白
西跳珠亂入船
雪華書

根本 雪華

黑雲翻墨未遮山白
西跳珠亂入船
申弥書

鈴木 申弥

黑雲翻墨未遮山白
西跳珠亂入船
里奈書

江幡 里奈

黑雲翻墨未遮山白
西跳珠亂入船
清華書

田村 清華

黑雲翻墨未遮山白
西跳珠亂入船
旭翠書

貴島 旭翠

黑雲翻墨未遮山白
西跳珠亂入船
幸玉書

森田 幸玉

雙開貫
里彩書

平山 里彩

真遣儀
雪華書

根本 雪華

雙開貫
申弥書

鈴木 申弥

真遣儀
里奈書

江幡 里奈

雙開貫
清華書

田村 清華

雙開貫
幸玉書

森田 幸玉

便起故
旭翠書

貴島 旭翠

皆得時
由翠書

熊田 由翠

弗踰
朋齋書

近藤 朋齋

文心慟汲螢紀寒魯
墳旌孔鐫銘泉

千優臨

(師範) 黃 千優
若々しいキレのある線に今後の可能性を見る。字形も美しく良い作品である。

黒雲翔墨未遮山白
雨跳珠亂入船

泰健書

(師範) 林 泰健
今月は字間と字の大きさを揃えた上で、文字そのものの変化を表現した。

義民脩繕故祠遂采
嘉石這立觀闕

春麗臨

(師範) 岡野 春麗
温かみのある線質。忠実な隷書作品といえよう。今後一層の発展を。

黒雲翔墨未遮山白
雨跳珠亂入船

東鴻書

(師範) 坂上 東鴻
瑞雲展文部科学大臣賞受賞作家だけあって、風格ある行書作品見事。

黒雲翔墨未遮山白
雨跳珠亂入船

珠耀書

(師範) 深谷 珠耀
文字大小、線の変化をうまくつけてよく纏まっている。もう一息墨量があつてよい。

黒雲翔墨未遮山白
雨跳珠亂入船

(師範) 平野 由美
特に渴筆の美しさが際立つ秀作。手慣れた運筆と安定した作品構成。

黒雲翔墨未遮山白
雨跳珠亂入船

(師範) 松村千恵子
潤いのある線で趣のある渴筆が美しい。行の流れも良い範書。

黒雲翔墨未遮山白
雨跳珠亂入船

(師範) 林 泰邦
文字の振幅を抑えて爽やかな印象に仕上げた。漢字を学ばれている方か、線が強い。

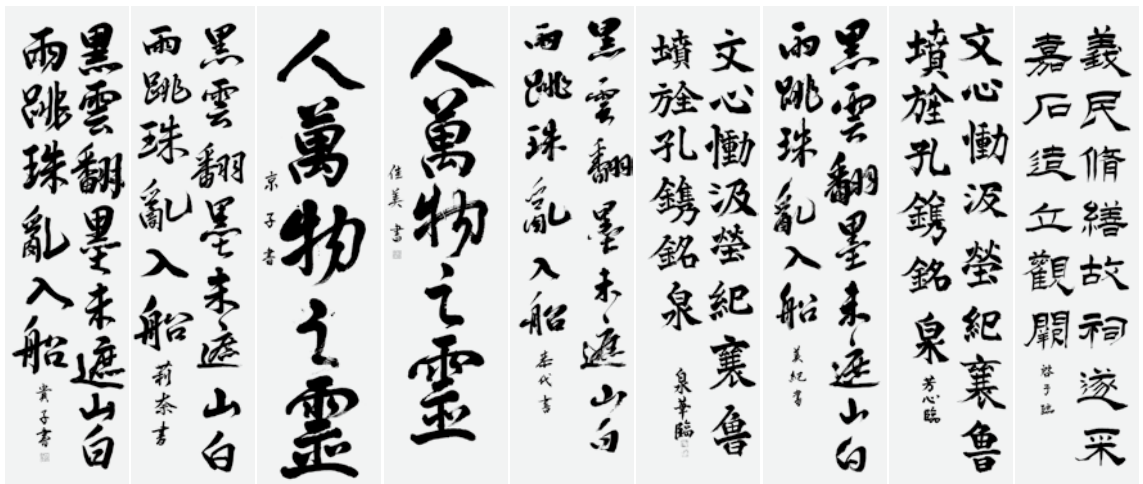
第867回 条幅部当選作品



(師格) 比屋定輝子 (師範) 瀧澤 廣聖 (師範) 岩永 邑静 (師範) 倉田 邑和 (師範) 土屋 紫陽 (師範) 鈴木 楊芽 (師範) 石井 風香 (師範) 島尻 英子 (師範) 松村千恵子



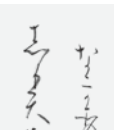
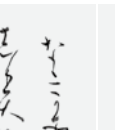
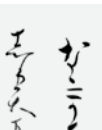
(七段) 佐藤 翠瑛 (七段) 大内 芳泉 (八段) 神谷 武史 (準師) 西野 佑里 (準師) 佐藤 晴美 (準師) 武藤 清華 (準師) 長山 真 (師格) 鈴木真佐子 (師格) 林 泰裕 (師格)



(三段) 大蔵 貴子 (三段) 西村 莉奈 (準四) 佐藤 京子 (四段) 今若 佳美 (五段) 中村 恭代 (五段) 二村 泉華 (五段) 相澤 美紀 (五段) 普久原芳心 (六段) 半村 啓子 (六段)

第867回 条幅部当選作品

[illegible]

									
(七段) 野崎 裕紀	(七段) 本城 吉子	(七段) 野崎 優子	(八段) 縣 礼子	(準師) 安藤 りん	(準師) 中川 優子	(師格) 阿部 誠子	(師範) 深田 翠笑	(師範) 岩田 紀風	(師範) 岩田 紀風

準初 今若 佳美	三段 當眞 栄子	準四 金子 泰華	四段 瀧澤 廣聖	四段 西村 さつき	五段 藤原 清雅	五段 坂本 由美	五段 皆越 ゆかり	六段 小倉 敦子

〈かな部〉

穿青 雙關貫
いみ 準師 武藤 清華

穿青 雙關貫
白山 師範格 新井 悟美

穿青 雙關貫
泉心 師 七加家英子

穿青 雙關貫
春 師 安部 翠純

水無月 芒種 夏至
風が吹いて涼しくなご欲い
という願いを込めて「風待月」
ともいう。常夏月とも。
紀風 師範格 岩田 紀風

越世 真遷儀
北斗 七段 小澤 奈々海

越世 真遷儀
白山 師範格 新井 悟美

越世 真遷儀
仁子 師 鈴木 楊芽

(準師)武藤 清華
(師範)杉村 万里子

(師格)新井 悟美
(八段)小澤 奈々海

(師範)七加家英子
(師格)新井 悟美

(師範)安部 翠純
(師範)鈴木 楊芽

水無月 芒種 夏至
風が吹いて涼しくなご欲い
という願いを込めて「風待月」
ともいう。常夏月とも。
紀風 師範格 岩田 紀風

為歌 孫之面
華若 七段 物四 隆代

為歌 孫之面
いみ 準師 武藤 清華

為歌 孫之面
中 師 加藤 寿泉

娛信可樂也夫人之相與俯仰
一世或取諸懷抱悟言一室之內
華若 師 栗山 谿邑
娛信可樂也夫人之相與俯仰
一世或取諸懷抱悟言一室之內
岩崎 六段 岩崎 春翠

すせそたちつ
てとなにぬね

かきくけこ
ききくけこ
ききくけこ
ききくけこ

かきくけこ
ききくけこ
ききくけこ
ききくけこ

(師格)岩田 紀風
(六段)岩崎春翠 (師範)栗山谿邑

(七段)福田 隆代
(3級)中山直子 (三段)林 宗弘

(準師)武藤 清華
(七段)野崎 優子

(師範)加藤 寿泉
(師範)遊佐 礼子

秀

作

〈規定部〉

一乃會 師 川口洋子 穿青 筆泉 師 倉田邑和 雙開貫	筆泉 師 倉田邑和 穿青 金師 永田翠麗 雙開貫	聖心 師 関田香珠 穿青 菰筆 師 香川翠櫻 雙開貫	仁利 師 二藤洲瑛 穿青 あす 師 井原娟祥 雙開貫	北斗 師 深谷珠耀 穿青 平野 師 平野由美 雙開貫	天風 師 範阿内春美 穿青 真翠 師 範深知真華 雙開貫
筆泉 師 鈴木真佐子 穿青 筆泉 師 鈴木真佐子 雙開貫	筆泉 師 鈴木真佐子 穿青 筆泉 師 鈴木真佐子 雙開貫	筆泉 師 鈴木真佐子 穿青 筆泉 師 鈴木真佐子 雙開貫	筆泉 師 鈴木真佐子 穿青 筆泉 師 鈴木真佐子 雙開貫	筆泉 師 鈴木真佐子 穿青 筆泉 師 鈴木真佐子 雙開貫	筆泉 師 鈴木真佐子 穿青 筆泉 師 鈴木真佐子 雙開貫
筆泉 師 鈴木真佐子 穿青 筆泉 師 鈴木真佐子 雙開貫	筆泉 師 鈴木真佐子 穿青 筆泉 師 鈴木真佐子 雙開貫	筆泉 師 鈴木真佐子 穿青 筆泉 師 鈴木真佐子 雙開貫	筆泉 師 鈴木真佐子 穿青 筆泉 師 鈴木真佐子 雙開貫	筆泉 師 鈴木真佐子 穿青 筆泉 師 鈴木真佐子 雙開貫	筆泉 師 鈴木真佐子 穿青 筆泉 師 鈴木真佐子 雙開貫

文真六段 半村啓子 穿青 筑波 四段 久長順子 雙開貫	北斗 七段 山口裕加 穿青 廣明五中 山美月 雙開貫	白山 七段 西木臨 穿青 文真五段 二村泉華 雙開貫	筆泉 七段 佐藤翠瑛 穿青 一乃令 五段 藤原清祖 雙開貫	北斗 七段 小澤奈々海 穿青 翠 五段 神谷節子 雙開貫	南都 八段 神谷武史 穿青 北斗五中 村恭代 雙開貫
文真六段 半村啓子 穿青 筑波 四段 久長順子 雙開貫	北斗 七段 山口裕加 穿青 廣明五中 山美月 雙開貫	白山 七段 西木臨 穿青 文真五段 二村泉華 雙開貫	筆泉 七段 佐藤翠瑛 穿青 一乃令 五段 藤原清祖 雙開貫	北斗 七段 小澤奈々海 穿青 翠 五段 神谷節子 雙開貫	南都 八段 神谷武史 穿青 北斗五中 村恭代 雙開貫
文真六段 半村啓子 穿青 筑波 四段 久長順子 雙開貫	北斗 七段 山口裕加 穿青 廣明五中 山美月 雙開貫	白山 七段 西木臨 穿青 文真五段 二村泉華 雙開貫	筆泉 七段 佐藤翠瑛 穿青 一乃令 五段 藤原清祖 雙開貫	北斗 七段 小澤奈々海 穿青 翠 五段 神谷節子 雙開貫	南都 八段 神谷武史 穿青 北斗五中 村恭代 雙開貫

(六段)半村 啓子 (四段)久長 順子 (三段)荻沼 真央
 (七段)山口 裕加 (五段)中山 美月 (三段)海老澤 優菜
 (七段)西本 陸 (五段)二村 泉華 (三段)寺門 琉菜
 (七段)佐藤 翠瑛 (五段)藤原 清雅 (準四)浅野 華鈴
 (八段)小澤 奈々海 (五段)神谷 節子 (四段)鈴木 理央
 (八段)神谷 武史 (五段)中村 恭代 (四段)土田 美知子

〈規定部〉

作

秀

長沢 準三 高橋 道子 穿青 雙開貫	求口 準三 鈴木 玲子 穿青 雙開貫	美玉 二段 小川 襟花 穿青 雙開貫	聖心 三段 長島 暁子 穿青 雙開貫	いづみ 大金 瑠華 穿青 雙開貫	奏陵 二字 津木 紗彩 穿青 雙開貫
小西 梓 穿青 雙開貫	鈴木 琴彩 穿青 雙開貫	奏陵 二段 小松崎 凜菜 穿青 雙開貫	奏陵 二段 大島 雛実 穿青 雙開貫	いづみ 二段 工藤 幹子 穿青 雙開貫	奏陵 準三 稲山 彩音 穿青 雙開貫
狭山 結奏 穿青 雙開貫	美玉 初 北村 玲乃 穿青 雙開貫	美玉 初 日下 早苗 穿青 雙開貫	奏陵 初 荒木 優瑞 穿青 雙開貫	いづみ 藤井 いろは 穿青 雙開貫	いづみ 初 藤枝 則子 穿青 雙開貫
(準三)高橋 道子 (二段)小西 梓 (初段)花山 結奏	(準三)鈴木 玲子 (二段)鈴木 琴彩 (初段)北村 玲乃	(三段)小川 襟花 (二段)小松崎 凜菜 (初段)日下 早苗	(三段)長島 暁子 (二段)大島 雛実 (初段)荒木 優瑞	(三段)大金 瑠華 (二段)工藤 幹子 (準二)藤井 いろは	(三段)宇津木 紗彩 (準三)稲山 彩音 (二段)藤枝 則子

羽一級 奈良 幸音 之靈 人萬物	いづみ 小澤 由季 穿青 雙開貫	香春 準初 齋藤 好美 穿青 雙開貫	奏陵 初 井坂 麗桜 穿青 雙開貫	東海 初 親見 由希 穿青 雙開貫	聖心 初段 金子 翔代 穿青 雙開貫
羽 六級 小山 桜奈 之靈 人萬物	金井 級 岡田 明子 之靈 人萬物	細風 3級 渡辺 華世子 之靈 人萬物	廣明 3 栗原 友春 之靈 人萬物	羽 級 神山 尚枝 之靈 人萬物	仁牛 1 長友 節子 之靈 人萬物
竿 榮 海 笠井 清隆 之靈 人萬物	川口 10 齋藤 純子 之靈 人萬物	旭局 今安 聖代 之靈 人萬物	一會 友紀 木庭 真紀 之靈 人萬物	廣明 8 鍵山 和美 之靈 人萬物	紀七 河原 昌代 之靈 人萬物
(準初)奈良 幸音 (4級)小山 桜奈 (10級)笠井 清隆	(準初)小澤 由季 (3級)岡田 明子 (9級)齋藤 純子	(準初)齋藤 好美 (2級)渡辺 華世子 (8級)今安 聖代	(初段)井坂 麗桜 (2級)栗原 友香 (7級)木庭 真紀	(初段)親見 由希 (準初)神山 尚枝 (7級)鍵山 和美	(初段)金子 翔代 (準初)長友 節子 (6級)河原 昌代

秀

作

〈随意部〉

真遷儀 越世 一乃會 師 林 宗 弘	真遷儀 越世 漢國師 山内 泉心	人萬物 之靈 石岡十景	真遷儀 越世 北斗 師 岡野 泰 麓	真遷儀 越世 茅泉 師 岩永 三 彰	真遷儀 越世 香春 師 次 上 東 鴻
真遷儀 越世 八木 八段 溝口 祐翠	真遷儀 越世 弘 準師 武藤 清華	人萬物 之靈 松岡 師 格 野村 龍 麓	真遷儀 越世 筆泉 師 格 鈴木 真 佐子	真遷儀 越世 茅花 師 格 林 泰 麓	真遷儀 越世 如島 師 格 長谷川 鳳 聲
真遷儀 越世 北斗 五 中村 恭代	真遷儀 越世 翠 五段 神谷 節子	人萬物 之靈 廣水 七 泉 一 義	真遷儀 越世 文真 六段 半村 啓子	真遷儀 越世 美五 七段 西山 海羅	真遷儀 越世 白山 七段 西本 睦
(師範) 林 宗弘 (八段) 溝口 祐翠 (五段) 中村 恭代	(師範) 山内 泉心 (準師) 武藤 清華 (五段) 神谷 節子	(師範) 石岡 千泉 (師格) 野村 婉麗 (五段) 栗原 一美	(師範) 岡野 春麗 (師格) 鈴木 真佐子 (六段) 半村 啓子	(師範) 岩永 邑静 (師格) 林 泰裕 (七段) 西山 海羅	(師範) 坂上 東鴻 (師範) 長谷川 鳳声 (七段) 西本 睦

真遷儀 越世 いづみ 澤四段 飯嶋 伸子	真遷儀 越世 狭 四 盛山 和花	真遷儀 越世 いづみ 四段 河尾 凛々	真遷儀 越世 廣 時 五 中山 そら	真遷儀 越世 筆泉 五段 相澤 美紀	真遷儀 越世 いづみ 五段 伊藤 美津
真遷儀 越世 いづみ 川松 蒼葉	真遷儀 越世 仁千 二段 小野 渚紗	真遷儀 越世 いづみ 初 藤枝 則子	真遷儀 越世 長次 半三 高橋 道子	真遷儀 越世 葵陵 三段 小橋 咲奈	真遷儀 越世 葵陵 三段 寺門 琉菜
真遷儀 越世 瑞堂 十級 福原由美子	真遷儀 越世 廣 略 八 鍵山 和美	真遷儀 越世 いづみ 小澤 由季	真遷儀 越世 いづみ 初 青木 和子	真遷儀 越世 葵陵 初段 勝又 瑞姫	真遷儀 越世 葵陵 初 荒木 優瑞
(準四) 飯嶋 伸子 (準二) 川松 蒼葉 (九級) 福原由美子	(四段) 盛山 和花 (二段) 小野 渚紗 (七級) 鍵山 和美	(四段) 河尾 凛々 (二段) 藤枝 則子 (準初) 小澤 由季	(五段) 中山 そら (準三) 高橋 道子 (初段) 青木 和子	(五段) 相澤 美紀 (三段) 小橋 咲奈 (初段) 勝又 瑞姫	(五段) 伊藤 美津 (三段) 寺門 琉菜 (初段) 荒木 優瑞

秀

作

〈臨書部〉



(師範)二藤 淑瑛 (師範)川口 洋子 (師範)蒔苗 瑞蓮 (師範)宮下 菖珊 (師範)松本 きよ (師範)藤原 秀華
(準師)川口 純惠 (準師)佐藤 晴美 (師格)鈴木真佐子 (師格)新井 悟美 (師範)山内 泉心 (師範)藤浦 呂園
(五段)中山 美月 (五段)佐原 叶歩 (六段)志田 房子 (七段)山口 裕加 (八段)白土 礼子 (八段)溝口 祐翠



(三段)宮崎 結羽 (準四)浅野 華鈴 (準四)山本 美奈 (四段)久長 順子 (五段)中村 恭代 (五段)二村 泉華
(初段)田川 光雲 (初段)澤畑 光子 (初段)青木 和子 (準二)藤井いろは (二段)渡辺 文香 (準三)高橋 道子
(新入)原 千種 (7級)北見 君子 (3級)岡田 明子 (2級)渡辺華世子 (準初)村上 雄一 (準初)小澤 由季

〈実用書〉

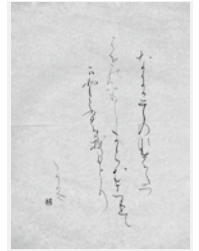
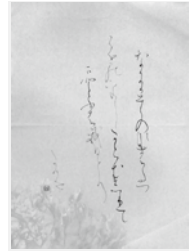
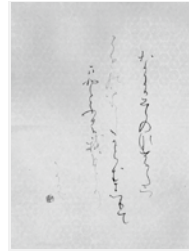
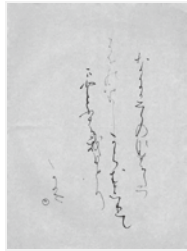
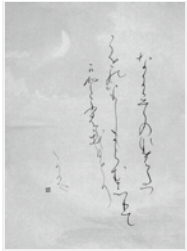
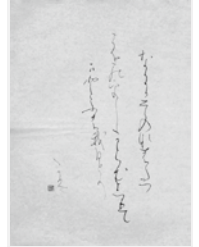
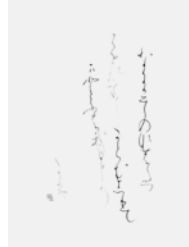
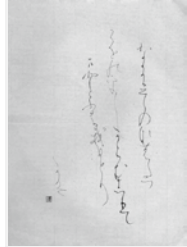
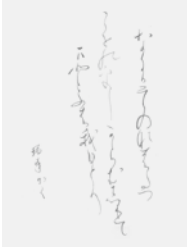
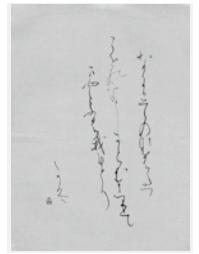
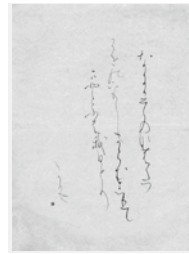
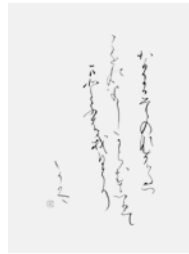
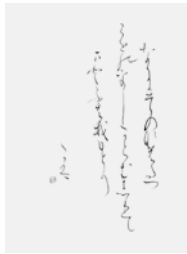
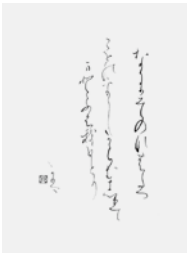
《細字部》

(10級)長島暁子 (7級)根本雪華 (準初)藤原瑋華 (準初)鈴木申弥 (準初)影山貴仙 (初段)林 宗弘 (二段)平野由美 (三段)溝口祐翠 (三段)深田翠笑 (三段)平山里彩 (三段)酒井翠樹 (四段)遊佐礼子

秀

作

〈仮名部〉



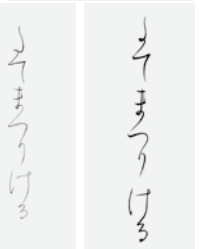
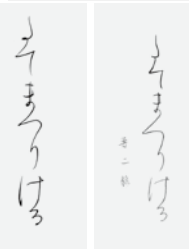
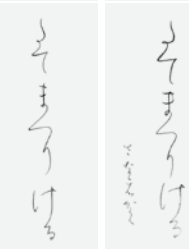
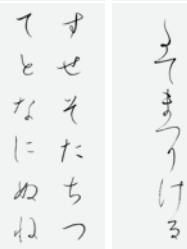
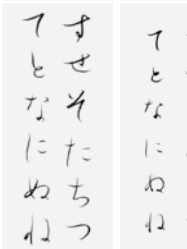
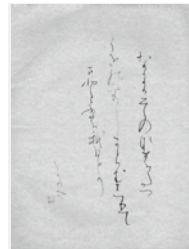
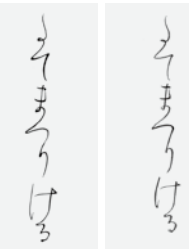
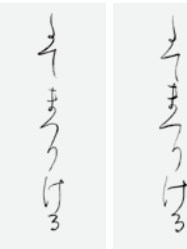
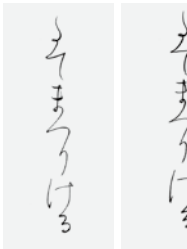
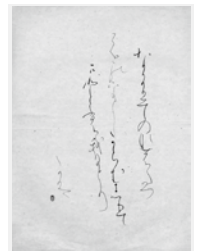
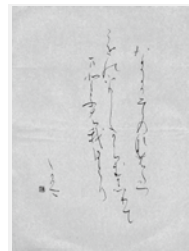
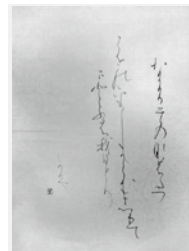
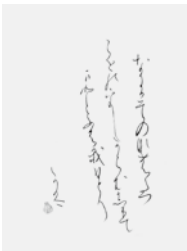
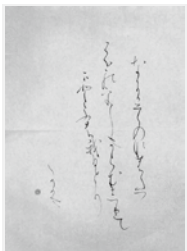
(師範)林 泰邦
(八段)小林 瑞幸
(五段)藤原 清雅

(師範)岩永 邑静
(八段)縣 礼子
(五段)皆越ゆかり

(師範)大津 桂風
(準師)中川 優子
(六段)小倉 敦子

(師範)松村 千恵子
(準師)安藤 りん
(七段)野崎 裕紀

(師範)平野 由美
(師格)阿部 誠子
(七段)勝野 玲子



(四段)武村 泰代
(初段)鈴木申弥
(9級)藤谷天朗

(準五)小室 陽江
(二段)岡野春麗
(4級)土田美知子

(五段)柴門 望
(準三)溝口祐翠
(準初)松崗優子

(五段)中川さやか
(準四)藤原美也子
(準初)影山貴仙

(五段)橘 聡子
(四段)鈴木 玲子
(初段)荒川公男

(初段)半村啓子

秀

作

〈ペン字随意部〉

〈ペン字規定部〉

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	華榮 師格 戸枝 丈子
--	----------------

(師格) 戸枝 丈子

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	全真 師 大津 桂風
--	---------------

(師範) 大津 桂風

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	鉄斗 師 山田 安里
--	---------------

(師範) 山田 安里

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	狭山 師範 岡田 貴桜
--	----------------

(師範) 岡田 貴桜

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	藤沢 師格 杉山 翠萌
--	----------------

(師格) 杉山 翠萌

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	養筆 師 志村 翠煌
--	---------------

(師範) 志村 翠煌

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	狭山 師範 岡田 貴桜
--	----------------

(師範) 岡田 貴桜

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	全真 師 大津 桂風
--	---------------

(師範) 大津 桂風

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	如扇 師範 杉村 万里子
--	-----------------

(師範) 杉村 万里子

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	北井 七段 根本 雪華
--	----------------

(七段) 根本 雪華

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	未經 八段 柿沼 洋菜
--	----------------

(八段) 柿沼 洋菜

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	宝 準師 平山 里彩
--	---------------

(準師) 平山 里彩

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	八十 師格 石井 風香
--	----------------

(師格) 石井 風香

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	ゆ 七段 八文字 聖媛
--	----------------

(七段) 八文字 聖媛

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	八文字 八段 中山 恵子
--	-----------------

(八段) 中山 恵子

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	未經 八段 柿沼 洋菜
--	----------------

(八段) 柿沼 洋菜

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	仁十 準師 鈴木 楊芽
--	----------------

(準師) 鈴木 楊芽

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	寛心 師格 井上 裕珠
--	----------------

(師格) 井上 裕珠

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	華榮 四段 山本 育代
--	----------------

(四段) 山本 育代

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	廣明 五段 櫻井 公子
--	----------------

(五段) 櫻井 公子

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	果心 五段 七加家 英子
--	-----------------

(五段) 七加家 英子

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	華榮 五段 福田 隆代
--	----------------

(五段) 福田 隆代

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	光明 四段 森 聖燦
--	---------------

(四段) 森 聖燦

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	廣明 五段 櫻井 公子
--	----------------

(五段) 櫻井 公子

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	華榮 五段 福田 隆代
--	----------------

(五段) 福田 隆代

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	仁十 七段 大蔵 貴子
--	----------------

(六段) 大蔵 貴子

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	仁十 七段 鈴木 申弥
--	----------------

(七段) 鈴木 申弥

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	ゆ 二段 白土 礼子
--	---------------

(二段) 白土 礼子

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	紀 準三 西村 莉奈
--	---------------

(準三) 西村 莉奈

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	ゆ 三段 渡辺 文香
--	---------------

(三段) 渡辺 文香

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	紀 準四 篠崎 みゆき
--	----------------

(準四) 篠崎 みゆき

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	紀 二 小森 愛海
--	--------------

(二段) 小森 愛海

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	紀 準三 佐藤 唯
--	--------------

(準三) 佐藤 唯

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	ゆ 三段 塩畑 あさ子
--	----------------

(三段) 塩畑 あさ子

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	ゆ 準三 大森 珠代
--	---------------

(三段) 大森 珠代

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	紀 準四 村岡 典子
--	---------------

(準四) 村岡 典子

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	山口 級 林 邦子
--	--------------

(7級) 林 邦子

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	廣明 五 栗原 友香
--	---------------

(2級) 栗原 友香

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	狭 初段 盛山 和花
--	---------------

(初段) 盛山 和花

すぶ、陽射しをさへさる 木立の陰を流りながら外回 りをしております。	聖心 初段 池添 彩乃
--	----------------

(初段) 池添 彩乃

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	白山 新 栗野 耀翠
--	---------------

(新入) 栗野 耀翠

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	廣明 三 栗原 友香
--	---------------

(2級) 栗原 友香

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	山下 準初 椎名 千梢
--	----------------

(準初) 椎名 千梢

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	ゆ 初段 小林 杏実
--	---------------

(初段) 小林 杏実

開 開 開 録 録 録 経 経 経 過 過 過 決定 決定 決定 以上 以上 以上	仁十 準二 小野 渚紗
--	----------------

(準二) 小野 渚紗

特 選

文明の 利器 文明の 利器 文明の 利器 文明の 利器	文明の 利器 文明の 利器 文明の 利器 文明の 利器	文明の 利器 文明の 利器 文明の 利器 文明の 利器	文明の 利器 文明の 利器 文明の 利器 文明の 利器	文明の 利器 文明の 利器 文明の 利器 文明の 利器	文明の 利器 文明の 利器 文明の 利器 文明の 利器
金員 水星 金員 水星 金員 水星 金員 水星	金員 水星 金員 水星 金員 水星 金員 水星	金員 水星 金員 水星 金員 水星 金員 水星	金員 水星 金員 水星 金員 水星 金員 水星	金員 水星 金員 水星 金員 水星 金員 水星	金員 水星 金員 水星 金員 水星 金員 水星
紀 大保 華 早川準七段 大高彩葉	紀 大保 華 早川準七段 大高彩葉	紀 大保 華 早川準七段 大高彩葉	紀 大保 華 早川準七段 大高彩葉	紀 大保 華 早川準七段 大高彩葉	紀 大保 華 早川準七段 大高彩葉
（八段）鳥山 紗愛 （準五）二宮 桜 （準五）檜山 和奏	（八段）鳥山 紗愛 （準五）二宮 桜 （準五）檜山 和奏	（八段）鳥山 紗愛 （準五）二宮 桜 （準五）檜山 和奏	（八段）鳥山 紗愛 （準五）二宮 桜 （準五）檜山 和奏	（八段）鳥山 紗愛 （準五）二宮 桜 （準五）檜山 和奏	（八段）鳥山 紗愛 （準五）二宮 桜 （準五）檜山 和奏

王国 風そよ いし むし	王国 風そよ いし むし	王国 風そよ いし むし	王国 風そよ いし むし	王国 風そよ いし むし	王国 風そよ いし むし
紀 田中 知里	紀 田中 知里	紀 田中 知里	紀 田中 知里	紀 田中 知里	紀 田中 知里
（四段）飯田 芽咲 （準初）山本 平林 （七級）平林	（四段）飯田 芽咲 （準初）山本 平林 （七級）平林	（四段）飯田 芽咲 （準初）山本 平林 （七級）平林	（四段）飯田 芽咲 （準初）山本 平林 （七級）平林	（四段）飯田 芽咲 （準初）山本 平林 （七級）平林	（四段）飯田 芽咲 （準初）山本 平林 （七級）平林

第864回 当選作品

文明の
利器
文明の
利器
川緑
風の
川緑
風の
全員
金星

早川 幸枝
舟田 安渡
望 蘭
紗 希
重 詩

文明の
利器
文明の
利器
川緑
風の
川緑
風の
全員
金星

いづみ 九赤
津 諒
諒 大
桃 那
裕 瑚
伶 那

文明の
利器
文明の
利器
川緑
風の
川緑
風の
全員
金星

いづみ 九赤
津 諒
諒 大
桃 那
裕 瑚
伶 那

文明の
利器
文明の
利器
川緑
風の
川緑
風の
全員
金星

いづみ 九赤
津 諒
諒 大
桃 那
裕 瑚
伶 那

文明の
利器
文明の
利器
川緑
風の
川緑
風の
全員
金星

いづみ 九赤
津 諒
諒 大
桃 那
裕 瑚
伶 那

文明の
利器
文明の
利器
川緑
風の
川緑
風の
全員
金星

いづみ 九赤
津 諒
諒 大
桃 那
裕 瑚
伶 那

文明の
利器
文明の
利器
川緑
風の
川緑
風の
全員
金星

いづみ 九赤
津 諒
諒 大
桃 那
裕 瑚
伶 那

文明の
利器
文明の
利器
川緑
風の
川緑
風の
全員
金星

いづみ 九赤
津 諒
諒 大
桃 那
裕 瑚
伶 那

全員
金星
全員
金星
全員
金星
全員
金星

いづみ 準七
吉岡 彩羽
いづみ 三
鈴木 奈央美

全員
金星
全員
金星
全員
金星
全員
金星

いづみ 準七
吉岡 彩羽
いづみ 三
鈴木 奈央美

全員
金星
全員
金星
全員
金星
全員
金星

いづみ 準七
吉岡 彩羽
いづみ 三
鈴木 奈央美

全員
金星
全員
金星
全員
金星
全員
金星

いづみ 準七
吉岡 彩羽
いづみ 三
鈴木 奈央美

全員
金星
全員
金星
全員
金星
全員
金星

いづみ 準七
吉岡 彩羽
いづみ 三
鈴木 奈央美

全員
金星
全員
金星
全員
金星
全員
金星

いづみ 準七
吉岡 彩羽
いづみ 三
鈴木 奈央美

全員
金星
全員
金星
全員
金星
全員
金星

いづみ 準七
吉岡 彩羽
いづみ 三
鈴木 奈央美

全員
金星
全員
金星
全員
金星
全員
金星

いづみ 準七
吉岡 彩羽
いづみ 三
鈴木 奈央美

第864回 当選作品

水星 山下二段 三村 孝寿	水星 羽初段 竹内みのり	水星 早川進二段 金澤紗耶	水星 狭三 澤田桃華	水星 時二段 西村星那	水星 いづみ 播田貢泰人	水星 羽二級 伊藤藤々々	水星 いづみ 清田理人	水星 仁千四段 佐藤 源	水星 仁千四段 佐藤 源
水星 幸三 野中泰和	水星 狭4 福田なつゆ	水星 宝一 白川 暖	水星 中 百六船由紀	水星 羽四級 佐藤友里乃	水星 紀 中屋沙環	水星 いづみ 宗像 美真	水星 いづみ 長本夏葵	水星 いづみ 池戸結衣	水星 いづみ 池戸結衣
水星 全初段 沢田 ひな	水星 田中千尋	水星 いづみ 小澤良蘭	水星 笠原三郎 白葵	水星 英二 仲野谷大葉	水星 いづみ 宗像 美真	水星 いづみ 宗像 美真	水星 いづみ 長本夏葵	水星 いづみ 池戸結衣	水星 いづみ 池戸結衣
水星 清風5 梁 桃源	水星 彩虹準四 初田 碧	水星 仁準3 花村啓音	水星 紀肩3 級 中和いずみ	水星 狭準2 山下莉子	水星 いづみ 宗像 美真	水星 いづみ 宗像 美真	水星 いづみ 長本夏葵	水星 いづみ 池戸結衣	水星 いづみ 池戸結衣
水星 三野沢 梁	水星 村中 弘	水星 金白小 花	水星 澤真三 中	水星 西村 藤	水星 播田 伊	水星 播田 伊	水星 播田 伊	水星 播田 伊	水星 播田 伊
水星 夢和な 源	水星 歩奏ひ 桃	水星 りつ尋 碧	水星 紗暖蘭 弥	水星 華妃葵 み	水星 那乃美 莉	水星 那乃美 莉	水星 那乃美 莉	水星 那乃美 莉	水星 那乃美 莉
水星 幸3 坂 優希奈	水星 若草1じちし村 朋佳	水星 狭7 伊藤幸音	水星 狭準6 加藤隼輔	水星 み六せきねゆな	水星 布川陽 彩	水星 いづみ 半田大翔	水星 いづみ 半田大翔	水星 いづみ 半田大翔	水星 いづみ 半田大翔
水星 緑準2 大塚鈴夢	水星 みまもよう やまゆりか	水星 早川初 甲巳	水星 飛田健 翔	水星 おまもん つひし蓮	水星 山中節 芽	水星 金10級 大野 聖浩	水星 金10級 大野 聖浩	水星 金10級 大野 聖浩	水星 金10級 大野 聖浩
水星 上田和可奈	水星 こ4 安部 花	水星 金4 根手ゆい	水星 緑準4 川和 和	水星 長谷川 結月	水星 仁千準2 東 惠永	水星 たかこ子	水星 たかこ子	水星 たかこ子	水星 たかこ子
水星 清風5 坂 大上	水星 公七 中野 ぬい	水星 二原芳 允	水星 み六 加 飛田 関	水星 鈴木秋 榮	水星 いづみ 吉川大和	水星 いづみ 吉川大和	水星 いづみ 吉川大和	水星 いづみ 吉川大和	水星 いづみ 吉川大和
水星 奈夢奈 愛	水星 村部 安野	水星 伊田根 二	水星 幸巴結 実	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二
水星 優和 愛	水星 村部 安野	水星 伊田根 二	水星 幸巴結 実	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二
水星 坂 大上	水星 村部 安野	水星 伊田根 二	水星 幸巴結 実	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二	水星 伊田根 二

第864回 当選作品

[illegible]

硬筆部当選作品

外国の人に、駅への道を尋ねられた。緊張したけれど、英語で答えたよ。

弥波 特待 中二 岡田 美咲

外国の人に、駅への道を尋ねられた。緊張したけれど、英語で答えたよ。

香春 準七 中二 嘉瀬 翔菜 美

保健委員会からのお知らせです。帰宅後や、食事の前には手を洗いましょう。

華音 津段 中一 武知 諒 樹

保健委員会からのお知らせです。帰宅後や、食事の前には手を洗いましょう。

弥波 津四 中一 井山 妃 菜

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

紀 準七 六 大保 華

外国の人に、駅への道を尋ねられた。緊張したけれど、英語で答えたよ。

香春 津特 中二 大山 かりん

外国の人に、駅への道を尋ねられた。緊張したけれど、英語で答えたよ。

いづみ 六段 中二 諏佐 真斗

保健委員会からのお知らせです。帰宅後や、食事の前には手を洗いましょう。

金 九段 中一 菊地 心 美

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

山下 三段 中一 菊池 颯 亮

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

ゆ 六 六 佐藤 逸

外国の人に、駅への道を尋ねられた。緊張したけれど、英語で答えたよ。

いづみ 準二 年 河尾 蘭々

外国の人に、駅への道を尋ねられた。緊張したけれど、英語で答えたよ。

全 六段 中二 久地 岡里 奈

保健委員会からのお知らせです。帰宅後や、食事の前には手を洗いましょう。

緑 準九 中一 能田 明優 香

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

金 津特 六年 山元 葵 木

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

いづみ 六段 六 赤津 和 真

外国の人に、駅への道を尋ねられた。緊張したけれど、英語で答えたよ。

いづみ 津特 中二 佐藤 瑛南

外国の人に、駅への道を尋ねられた。緊張したけれど、英語で答えたよ。

清風 五 中一 吉崎 佳子

保健委員会からのお知らせです。帰宅後や、食事の前には手を洗いましょう。

緑 七 中一 仁田 修 世

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

和心 準十 六 鈴木 咲 那

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

如風 五段 六 柴田 歩 果

外国の人に、駅への道を尋ねられた。緊張したけれど、英語で答えたよ。

露井 九 二 杉本 泰 地

外国の人に、駅への道を尋ねられた。緊張したけれど、英語で答えたよ。

和心 四段 中三 西野 な あり

保健委員会からのお知らせです。帰宅後や、食事の前には手を洗いましょう。

華桜 六 中一 長岡 橙 利

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

仁千 九段 六 尾崎 菜 友 加

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

清風 津五 六 三浦 千 怜

外国の人に、駅への道を尋ねられた。緊張したけれど、英語で答えたよ。

幸波 津心 中二 合田 陽 菜

外国の人に、駅への道を尋ねられた。緊張したけれど、英語で答えたよ。

いづみ 津段 中二 龜川 優 奈

保健委員会からのお知らせです。帰宅後や、食事の前には手を洗いましょう。

いづみ 津段 中一 渡辺 詩 重

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

たけ 津九 六 日吉 真 備

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

山下 津五段 六年 小 林 聖 奈

外国の人に、駅への道を尋ねられた。緊張したけれど、英語で答えたよ。

幸波 ハ 中二 小柳 歩 穂

保健委員会からのお知らせです。帰宅後や、食事の前には手を洗いましょう。

仁千 津特 中一 寺村 実 夏

保健委員会からのお知らせです。帰宅後や、食事の前には手を洗いましょう。

金 五段 中一 白土 透 真

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

いづみ 準ハ 六 田中 愛 莉

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

いづみ 津四 七 大垣 聖 仁

外国の人に、駅への道を尋ねられた。緊張したけれど、英語で答えたよ。

狼 準八 中二 新井 梢

保健委員会からのお知らせです。帰宅後や、食事の前には手を洗いましょう。

弥波 津段 中一 岡野 帆乃 木

保健委員会からのお知らせです。帰宅後や、食事の前には手を洗いましょう。

いづみ 津五 中一 藤枝 愛 菜

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

緑 七 六 飛田 幸 輝

雲が形を変えながら、西の空から東の空へゆっくりと動いている。

和心 三 六 松下 梨 花

硬筆部當選作品

五劃	仁	千	準	了	四	共	共	龜	井	仁	丈	リ
五劃	仁	千	準	了	四	共	共	龜	井	仁	丈	リ

五	喬	木	鈴	四	千	風	青	正部名
---	---	---	---	---	---	---	---	-----

[illegible]

氏名	野村悠悟
生年	4年
性別	男
学年	4年
氏名	いすまた
性別	男

み玉 五たん 三年 塚越 量

姓名	
う	
ナ	
職名	
二	
手	
九	
左	
泰	
英	
美	
子	

三	手	河	支	太	支
---	---	---	---	---	---

仁子	二段	三年	酒井麻	瑚
----	----	----	-----	---

仁千
準二
三年
田中
碧唯

和心
初
3
竹内健悟

なだ
三
野田陽向

金
ゴ
三年
白土
朝陽

み玉
そゆ
二年
石炭
ほの
珂

山下
三
方
司
牛
真
口
五

[illegible]

あいしる 三年渡邊 花

早川	
三	
本城芽依	

和心
5
三
会川
実莉

二
二年
高精結美

山	下
しやう	かみ
一	年
い	ち
石	川
い	はら

五音	
い	
な	
た	
高瀬	
二	
長	
ほ	
り	
ま	
な	

[illegible][illegible]

仁千
じ4
二年
花村
和
奏

氏名	いわた				
年齢					
学年	二年				
入会	青木 丈				

う
こ
い
ろ
ー
メ
りゅう
う
めい
い

[illegible]

いづみ
2年
あべりな

せい
い
し
あ
ん
へ
あ
か
ね

[illegible]

あ い う え お

1 2 3 4
 ぢ 人
 5 6 7 8
 ぢ 6
 9 10
 ー
 11 12 13 14
 た か は し な せ

こう
ゼウ
—
中山じょうた

けい
じせ
一ねん
たじましようつ

[illegible]

入道		
いざな	○	
はる		一
アト		—
いしかわめう		—

五福
い た あ
月曜
ア イ う え お
れ い た あ

[illegible]

しん
と
ち
は
る

二〇二六年
令和八年
八月号

①かな部、へん字部、実用書部、細字部の段級位は規定部とは別です。
②学生部の賞状を廃止します。太字は写真版掲載、太字でも昇級しないものは、一般部、学生部ともに有段者です。ただし、学生部の有段者で○・●のものは、一階級昇格とします。
③半紙部の落款に所属、段級、姓(名)を記入しないときは写真版から除外、付箋(出品券)のはつていない作品、審査後到着の作品等は審査なく、後方に名前だけ掲載されます。

– 42 –

[illegible]

ゆか 市毛 菑虎	蓉筆 夏川 奏那	廣明 飯田 結衣	廣明 飯田 結衣	早川 西口 ひなた	いづみ 新田 佳帆	清風 寺尾 瑠璃	仁千 渡板 悠乃	仁千 山須 律南	ゆか 山須 実花	英宏 敷内 開都	いづみ 瀬谷 咲良	和心 羽山 ちほ	紀風 中島 佑来	清風 伊藤 主都	和心 相谷 清元	あす 武尾 葉夏	滑聖 田尻 桃香	仁千 亀井 むぎ	いづみ 阿部 莉菜	金二 二川 拓士	幸聖 齋森 彩華	妃扇 高山 蓮明	清風 佐治 秀明	幸聖 臼井 飛樹	清風 鈴木 燈生	ゆか 大越 まほ	廣明 松本 結乃	妃扇 各務 銀大	
蓉筆 三原 慶風	英宏 多賀 諒士	早川 渡邊 いぶき	若草 益子 いぶき	妃扇 飯島 哲也	滑聖 若島 笑結	いづみ 石川 真怜	紀風 中野 千季	滑聖 鈴木 唯希	契翠 田嶋 祥子	小聖 内山 愛美	小聖 神長 陽菜	滑聖 宇野 結菜	和心 井上 楓菜	いづみ 高松 碧	いづみ 佐藤 颯真	いづみ 井口 莞太朗	いづみ 富田 蒼士	ゆか 飯島 凜	ゆか 櫻井 優莉奈	いづみ 白田 凜	いづみ 渡邊 歌	清風 田山 吟花	清風 安部 朱音	仁千 鈴木 海咲	仁千 麻場 ひより	小一年			
ゆか 西澤	ゆか 坂入	いづみ 高野	いづみ 野田	いづみ 阿部	いづみ 佐藤	いづみ 倉川	いづみ 成田	いづみ 椎名	いづみ 石川	いづみ 高橋	いづみ 谷部	いづみ 秋坂	いづみ 青木	いづみ 持丸	いづみ 菊池	いづみ 寺野	いづみ 森野	いづみ 森野	いづみ 森野	いづみ 森野	いづみ 森野	いづみ 森野	いづみ 森野	いづみ 森野	いづみ 森野	いづみ 森野	いづみ 森野	いづみ 森野	
李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	李生 步弥	
川口 鈴木	仁千 釘井	金二 勢田	新入 吹野	耀華 今田	廣明 宮内	ゆか ジョーダン	ゆか 伊勢山	耀華 伊勢山	ゆか 前田	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山	ゆか 伊勢山
理斗	千乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃	陽乃

毛筆部・硬筆部 特待生合格者



常陸太田市立太田中学校 2年
藤枝 来光



茨城キリスト教学園中学校 2年
上島 桜羽



日立市立大久保中学校 2年
高畠 桜帆



宇都宮市立上河内中学校 3年
村田 彩空



日立市立泉丘中学校 3年
澤田 充



日立市立泉丘中学校 3年
渡邊 しず



高萩市立高萩中学校 1年
吉本 優月



藤沢市立滝の沢中学校 1年
村戸 琴音



多治見市立小泉中学校 2年
小原 慶浩



多治見市立小泉中学校 2年
坂口 遥翔



松戸市立常磐平中学校 2年
高田 琴羽



松戸市立第四中学校 2年
村田 海碧



伊豆の国市立韮山中学校 1年
寺村 実夏



伊豆の国市立韮山中学校 1年
栗林 愛依



東松山市立白山中学校 1年
北村 玲乃



日立市立泉丘中学校 1年
澤田 旭



日立市立大久保中学校 1年
遠藤 里奈

〈令和八年度後期昇格試験課題参考〉



令和八年度後期昇格試験作品募集要項

作品送り先 水戸市宮町一〇九八一二〇八 真弓書道会事務所
作品締切 令和八年十月三十日(必着)
作品締切表 十二月号文華誌上

種別	料紙	枚数	課題	試験資格	試験料
師範試験	条幅(半切) タテ書	四体四枚 臨書(下の課題を書く) (書譜) 十四字 隸・楷・行または草 (行草混体可)	◎臨書「書譜」(落款は○○臨とすること) 夫勁速者越逸之機 遲留者賞會之致 夫れ勁速は越逸の機にして、 遲留は賞會の致なり。 そもそも書は、勁く早い運筆をすれば超脱のおも むきがあらわれ、遅く留まるような運筆をすれば 賞美のおもむきがあらわれるものである。 ◎十四字課題 朱大啓 黄嚴道中 萬樹梨雲白滿山 桃花幾點破紅顏 万樹の梨雲白山に満ち 桃花幾点か紅顔を破る 無数の梨の樹が花をつけたので山一面がまっ白で、 その中に五つ六つのあかい桃の花が混じってとても美しい。 ◎五字課題 空山野 菊新 空山に野菊新たり 人気のない山に咲いたばかりの野菊があった。 重陽の節の彩り。	八段以上	八、八〇〇円
八段試験	条幅(半切) タテ書	三枚三枚 十四字 隸・楷・行または草 (行草混体可)	◎十四字課題 朱大啓 黄嚴道中 萬樹梨雲白滿山 桃花幾點破紅顏 万樹の梨雲白山に満ち 桃花幾点か紅顔を破る 無数の梨の樹が花をつけたので山一面がまっ白で、 その中に五つ六つのあかい桃の花が混じってとても美しい。 ◎五字課題 空山野 菊新 空山に野菊新たり 人気のない山に咲いたばかりの野菊があった。 重陽の節の彩り。	五段以上	七、七〇〇円
五段試験	条幅(半切) タテ書	二枚二枚 十四字 楷・行または草 (行草混体可)	◎十四字課題 朱大啓 黄嚴道中 萬樹梨雲白滿山 桃花幾點破紅顏 万樹の梨雲白山に満ち 桃花幾点か紅顔を破る 無数の梨の樹が花をつけたので山一面がまっ白で、 その中に五つ六つのあかい桃の花が混じってとても美しい。 ◎五字課題 空山野 菊新 空山に野菊新たり 人気のない山に咲いたばかりの野菊があった。 重陽の節の彩り。	三段以上	六、六〇〇円
三段試験	半紙 タテ書	四体四枚 五字 隸・楷・行・草	◎五字課題 空山野 菊新 空山に野菊新たり 人気のない山に咲いたばかりの野菊があった。 重陽の節の彩り。	初段以上	四、四〇〇円
初段試験	半紙 タテ書	三枚三枚 五字 楷・行・草	◎五字課題 空山野 菊新 空山に野菊新たり 人気のない山に咲いたばかりの野菊があった。 重陽の節の彩り。	一段以上	三、三〇〇円
一段試験	半紙 タテ書	二枚二枚 五字 楷・行	◎五字課題 空山野 菊新 空山に野菊新たり 人気のない山に咲いたばかりの野菊があった。 重陽の節の彩り。	新入以上	二、二〇〇円

※誤字・脱字は審査対象外となります。十分注意して出品して下さい。

手本特別揮毫(半紙はコピー。名前のみ肉筆。)
手本希望者は返信用封筒に切手貼付、現在段級を明記し、所定の料金を同封の上左記へ御申込み下さい。(住所変更していません。)

〒310-0015 水戸市宮町一〇九八一二〇八 辻 敬齋

受検料 出品料は極力現金書留か郵便振替で納入のこと。小為替は使用しないです。出品締切までに出品料を納めていない場合は、審査から除外されます。
半紙作品 隸・楷・行・草書の順に、テープでタテに縫いで左下部に出品票を貼付して下さい。落款は、各書体に合わせて所属、段級、姓号を必ずお書き下さい。行、草に楷書は書かないように。
条幅作品 落款は号か名だけ、左側余白に所属、段級、姓号又は姓名を鉛筆で書き、隸・楷・行・草の順に重ねて一番上の作品に「付箋」をつけて下さい。
付箋 作品の左下部に現在段級、姓名(号)を記入の上必ず昇段試験用の付箋を貼付のこと。
その他 合格者は、実力相当の段級位に昇格又は編入する。成績は「文華」十二月号に掲載する。

師範試験 一、二、〇〇〇円 八段試験 九、〇〇〇円
五段試験 八、〇〇〇円 三段試験 四、〇〇〇円
初段試験 一、五〇〇円 一段試験 一、〇〇〇円
(お願い) 返信用封筒は角3形以上の大きさのものでお願いいたします。

〈令和八年度後期昇格試験課題参考〉

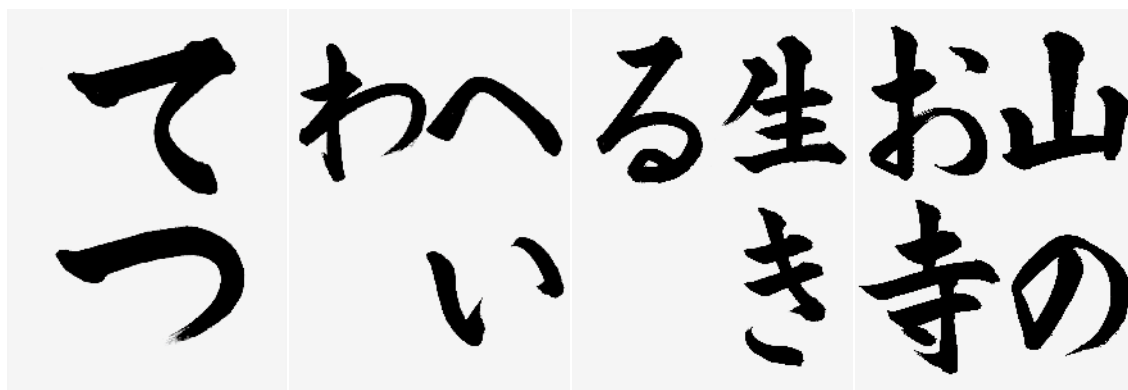


5 年
(^{かえ}笛 ^{いろ}の ^ね音 色)

6 年
(^に日 ^{ほん}本 ^{しん}神 話)

中 1 年
(^{かた}固 ^い決 ^{けつ}意)

中2・3年
(^{とう}灯 ^{だい}台 ^{もと}下 ^{くら}暗 し)



1 年
(て つ)

2 年
(へ い わ)

3 年
(^い生 ^きき ^るる)

4 年
(^{やま}山 ^のの ^{てら}お 寺)

令和八年度後期昇格試験作品募集
送り先 真弓書道会事務所
水戸市宮町一〇九八一二〇八
締切 令和八年十月三十日(必着)
課題 幼年(くし) 一年(て) 二年(へいわ) 三年(生きる) 四年(山のお寺) 五年(笛の音色) 六年(日本神話) 中学一年(固い決意) 中学二・三年(灯台下暗し)
出品料 一、一〇〇円。各支部長とりまめの上、出品者一覽表を添えて御出品下さい。
その他 合格者は実力相当段級位に昇格又は編入する。成績は「文華」誌上に掲載します。
出品料は極力現金書留か郵便振替で送付する。振替で送金の際は領収書を(コピー可)同封すること。出品締切までに出品料を納めていない場合は、審査から除外されます。ご注意ください。
付せん 支部名、現在段級、氏名をはっきり書いて、左下部に貼付して下さい。級位がはつきりしないときは昇格の責任はもちません。
送付 昇試作品は月例競書作品と同封しないこと。封筒には必ず「昇試」と朱書すること。
審査 審査後着は審査対象外となります。手本揮毫料 一体一点 五〇〇円
(事務所または添削担当の先生にお願いして下さい。)



幼 年
(く し)

※下部の申込書は、各支部でご活用下さい。

学生部 令和8年度後期昇格試験申込書

学 年	氏 名		
出 品 料	毛筆	1,100 円	合計 円
	硬筆	1,100 円	

領収証

令和8年度後期昇格試験料

令和8年 月 日 支部長名

上記領収いたしました。

様
円

印

〈令和八年度後期ペン字部昇格試験課題参考〉

楊	長
柳	年
堤	莫
南	道
是	秋
酒	江
樓	冷

(課題 ①)

楊	長
柳	年
堤	莫
南	道
是	秋
酒	江
樓	冷

(課題 ②)

楊	長
柳	年
堤	莫
南	道
是	秋
酒	江
樓	冷

(課題 ③)

筑波嶺の峰より落つる
男女川恋ぞつもりて淵と
なりぬる 陽成院のうた

(課題 ④)

秦の始皇帝が天下を統一する
と丞相李斯は他の六国の文字を
廃し、整理統合を行った。

(課題 ⑤)

ペン字部昇格試験

作品募集要項

送り先 〒三一〇〇一五

水戸市宮町

一一九八一一二〇八

真弓書道会事務局

作品締切 令和八年九月三十日

発表表 十一月号誌上

課題 ① 次の文を楷書で書く。

長年莫道秋江冷

楊柳堤南是酒樓

(長年道ふ莫れ秋江冷やかだと
楊柳堤の南は是れ酒樓)

② 課題①の文字を行書で書く。

③ 課題①の文字を草書で書く。

④ 次の文章を縦書きで書く。
(漢字は行書のこと。)

筑波嶺の峰より落つる男女川
恋ぞつもりて淵となりぬる
陽成院のうた

⑤ 次の文章を横書きで書く。
(漢字は楷書のこと。)

秦の始皇帝が天下を統一する
と丞相李斯は他の六国の文字を
廃し、整理統合を行った

課 題

受験資格

受験料

手本
(コピー
番号肉筆)

師範試験

①②③④⑤の五点を提出する。

五段以上

六六〇〇円
二五〇〇円

五段試験

①②③④の四点を提出する。

三段以上

五五〇〇円
二、〇〇〇円

三段試験

①②④の三点を提出する。

初段以上

四四〇〇円
一、五〇〇円

初段試験

①④の二点を提出する。

一級以上

三三〇〇円
一、〇〇〇円

一級試験

①を提出する。

新入以上

二、二〇〇円
五〇〇円

○用紙

競書規定用紙を使用する。横書きの場合は用紙を
名前欄が下にくるようにして書く。

○作品

各部とも課題①②③④⑤の順にテープで左揃えで
縦につないで出品のこと。作品にはそれぞれ所属
支部、又は地名、段級、氏名の記入を忘れないこと。

○用具

○付せん

つけペン、又は万年筆、ボールペン、サインペン
支部名、氏名(号) 現段級を記入した昇格試験用
の付せんを必ず作品の左下部に貼付のこと。

※課題①②③はマス型検定用紙、課題④⑤は三行型検定用紙
を使用して下さい。

検定用紙(五〇枚二三〇円・送料別)は事務所までご請求
下さい。

手本希望者は返信用封筒に切手貼付の上、所定の手本代を
添えて、左記へお申し込み下さい。

〒310-0015 水戸市宮町一一九八一一二〇八 辻 敬齋

〈令和八年度後期硬筆部昇格試験課題参考〉

小学4年

太陽の光を木立がさえぎり、林の中はひんやりとした感じがします。

小学5年

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

小学6年

けんび鏡を使って、池や川にすむ小さな生き物を観察しました。

中学1年

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

中学2・3年

祖父は、新潟で米作りをしています。今月末から稲刈りが始まるそうです。

幼 年

そらとり

小学1年

すんだよぞらに、ほ

小学2年

学校の花だんに、た

小学3年

図書館に行き、本を読み

三行型は27%、ます型は30%拡大で原寸大になります。

令和八年度後期硬筆部
昇格試験作品募集

送り先 真弓書道会事務所
水戸市宮町一〇九八―二〇八
締切 令和八年九月三十日
課題 上記の通り
出品料 一、二〇〇円

※各支部長とりまとの上、出品者一覽表を添えて御出品下さい。出品料は極力現金書留か郵便振替で納入のこと。振替で送金ときは領収書を同封すること。(コピー可)出品締切日までに出品料を収めていない場合は、審査から除外されますからご注意ください。

合 格 合格者は実力相当段級に昇格又は編入する。成績は「文華」誌上に掲載する。

用 紙 月例競書用紙を使用する。作品には支部名、現段級、氏名をはっきり書いてください。

付せん 支部名、氏名、現在段級を書いた昇格試験用の付せんを必ず作品の左下部に貼付してください。

送 付 昇試作品は月例競書作品と同封しないこと。封筒には必ず「昇試」と朱書すること。

審 査 審査後着は審査対象外となります。

手本料 一点に付 五〇〇円(事務所又は添削担当の先生にお願いして下さい。)

茨城県美術展覧会〈作品研究会〉

日時・会場

《添削指導》 ① 6月27日(土) 15時～ 日立市河原子交流センター

② 7月18日(土) 16時～ 日立市河原子交流センター

③ 8月9日(日) 9時30分～ 水戸本部教場

《選別・作品〆切》

④ 8月22日(土) 15時～ 日立市河原子交流センター

※日時変更の場合、文華誌にてお知らせいたします。

指 導 辻 敬齋(真弓書道會會長)

参加費 各回 3,000 円

※水戸・日立教場に毎月参加している方は各回 2,000 円。

※①②③に全て参加された方は④無料。

※当日の手本揮毫は原則いたしません。手本を請求される方は、返信用封筒と所定の手本料を添えて、早めに申し込んで下さい。

〒310-0015 水戸市宮町1-9-8-1208 辻 敬齋(電話 090-1426-5028)

銀座教室 開講のお知らせ

9月より第1、3日曜日 15時から18時に銀座教室(慶花堂)を開講します。
奮ってご参加ください。

●書道用品専門店 慶花堂

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-9-13 菊正ビル 2F

TEL. 03-3573-5011

書道教室は8Fです。

東京メトロ 銀座線 銀座駅 A5出口 徒歩1分

東京メトロ日比谷線 都営地下鉄浅草線 東銀座駅 A1出口 徒歩2分



教室のご案内 (辻敬齋會長指導)

◆水戸本部稽古

・ 8月9日(日) 9時30分～ 水戸本部・日立合同稽古

・ 8月23日(日) 15時～

・ 9月13日(日) 15時～

・ 9月27日(日) 9時30分～ 水戸本部・日立合同稽古

◆日立稽古

・ 8月22日(土) 16時～

・ 9月12日(土) 16時～

新規参加者募集中です。見学も歓迎いたします。TEL (090) 1426 - 5028 〈敬齋〉

令和八年度細字部昇格試験作品募集要項

度人經 太上洞玄靈寶無量

希有世尊如來善護念諸
菩薩善付囑諸菩薩世尊
善男子善女人發阿耨多
羅三藐三菩提心應云何
住云何降伏其心佛言
是日也天朗氣清

課題① 臨書
(半紙タテ)

◎ 釈文 希有世尊。如來善護念諸菩薩。善付囑諸菩薩。世尊。善男子。善女人。發阿耨多羅三藐三菩提心。應云何住云何降伏其心。佛言

王羲之 蘭亭序

列坐其次雖無絲竹管弦之
盛一觴一詠足以暢叙幽情
是日也天朗氣清

課題② 臨書
(半紙タテ 1/2 切)

◎ 釈文 列_ニ坐_ス其_ノ次_ニ。雖_モ無_シ糸竹管弦之盛_一。一觴一詠_一。亦_モ足_ル以_テ暢_ス叙_ス幽情_一。是日也。天朗氣清_一。

王羲之 蘭亭序

列坐其次雖無絲竹管弦之
盛一觴一詠

課題③ 臨書
(半紙タテ 1/2 切)

◎ 釈文 列_ニ坐_ス其_ノ次_ニ。雖_モ無_シ糸竹管弦之盛_一。一觴一詠_一。

令和八年度
細字昇格試験用付せん

課題	課題	試験資格	試験料
師範試験	①②の二点提出のこと 所属、段位、自分の姓名(号) ①は楷書、②は行書で揮毫	五段以上	五、五〇〇円
五段試験	①と③の二点提出のこと 所属、段位、自分の姓名(号) ①は楷書、③は行書で揮毫	三段以上	四、四〇〇円
三段試験	②一点のみ提出のこと 所属、段位、自分の姓名(号) 行書で揮毫	初段以上	三、三〇〇円
初段試験	③一点のみ提出のこと 所属、段位、自分の姓名(号) 行書で揮毫	新入以上	二、七五〇円

送り先 真弓書道會事務所

〒310-0015 水戸市宮町一〇九八一二〇八

作品締切 令和八年八月三十日(事務所必着)

発表 令和八年十月号 文華誌上

受験料 出品料は極力現金書留で納入のこと。振替を使用されるときは領収証かそのコピーを作品と同封のこと。出品メ切までに

出品料が納入されていないときは審査から除外されます。

二点以上の場合①②の順に、テープでタテに継いで左下部

に出品票を貼付して下さい。付せんは現段級、氏名(号)を

記入の上、必ず昇格試験用の付せんを貼付のこと。

その他 課題②③は半紙をタテ1/2切り の大きさにする。

◆手本希望者は〒310-0015 水戸市宮町一〇九八一二〇八まで

師範・五段試験(一、〇〇〇円) 返信用封筒を添えて

三段・初段試験(五〇〇円) お申し込み下さい。

※半紙に合わせたコピー・支部姓号肉筆

のり		のり	
師範試験		細字 昇試	
受験者のみ記入		支部	姓 名(号)
支部長名	合格通知発送先住所	新段級	現段級
〒()	※合格通知連絡のため	昇格年	年
		8年細字	

師範試験受験者は
太線できりと添付

九月号課題予告

九月二十五日締切(事務所必着)

急行
列車

中学1年

紅葉の
季節

中学2・3年

林花掃
更落

自 運(1級以下)

滌蕩瑕
穢可

九成宮醴泉銘(師範～準初)

虫か
ご

小学3年

学友と
ぶ

小学4年

公広
園い

小学5年

詩と
音楽

小学6年

うた

幼 年

こめ

小学1年

りまつ

小学2年

随意部

集字聖教序

「麗象開圖。空」

臨書部

十七帖

「謝之。甚遲見」

学生部硬筆課題予告

祖父は、新潟で米作りをしていました。今月末から稲刈りが始まるそうです。

湖の水面に太陽の光が反射して、宝石のようにきらきらと輝いています。

けんび鏡を使って、池や川にすむ小さな生き物を観察しました。

夕日がしずんで、虫の音が聞こえてきた。音楽会の始まりだね。

太陽の光を木立がさえぎり、林の中はひんやりとした感じがします。

図書室に行ったら、みんな読んでいるよ。本を読

学校の花だんに、たきまさんのコスモスがさ

すんだよ。そらに、ほしがひかっています。

そらとり

こえ

幼 年

小学1年

小学2年

小学3年

小学4年

小学5年

小学6年

中学1年

中学2・3年

入会案内と誌代について

- 一、新しく入会を希望される方は、誌代（前納）を添えてお申込みになればどなたでも誌友になれます。
- 一、申し込みの際は何年何月から何月までと、郵便番号、住所、氏名、電話番号を、はつきり楷書で、お書き下さい。
- 「文華」一ヶ月 七五〇円
六ヶ月 四、五〇〇円
一ケ年 九、〇〇〇円
（各別途送料二〇〇円）
- 一、同一住所に二冊以上の送本であれば、送料は無料になります。
- 一、退会・部数変更・送金おくれの場合は、前月の十日までにその旨御一報下さい。退会の通知がない時は継続されるものとみなし送本し、その誌代は請求いたします。
- 一、ご送金は次の方法が便利です。
振替口座 〇〇三九〇—九一六〇七二
真弓書道會
- 支部規定**
- 一、支部は二名以上とまればつくることができます。
- 一、支部を新設するときは、支部名、所在地、支部長と支部員名簿を添えてお申込み下さい。
- 一、十一名以上の支部長には、支部員十一名に一名の割合で「文華」を贈呈します。
- 一、文華は毎月支部長あてに送り、支部長からそれぞれの支部員に配布していただきます。
- 一、支部長は、支部員の誌代（前納）をとりまとめて本部に納入して下さい。
- 一、支部長は退会や部数に変更があると

きは前月の十日までに事務所に連絡して下さい。

※変更届け先 FAXにてお願いいたします。

FAX 〇二九（二九七）七七四六番

一、支部長は支部員の清書をまとめて毎月きまりの締切日までに到着するように郵送して下さい。

競書出品のきまり

一、出品券は必ず所定の位置に貼りつけること。

半紙
支部名 段級氏名
→ふせん

条幅
書 館長・氏名等
→ふせん

- 一、出品券には段位以上は朱書、級位者は黒、又は青書のこと。
- 一、段級位を記入される場合、新しく昇格されたときは上の欄に必ずお書き下さい。
- 一、級位については、新を上段、旧を下段に必ずお書き下さい。
- 一、段級位は必ず記入して下さい。記入ないときは新入か級位不明の欄に編入されることがありますから、出品する前に必ず確かめて下さい。
- 一、はじめて出品されるときは「新」、二回目は「再」、三回目は十級として出品して下さい。
- 一、段級位は規定部、随意部、臨書部、条幅部とも共通です。
- 一、ペン字、かな部、細字部、実用書はそれぞれ段級位は別です。お間違いないよう御注意下さい。

認定証（一般部）

師範認定証（肉筆） 二万二千元
師範認定証（印刷） 一万一千元
師範格（五段）（印刷） 五千五百円
準五段以下（印刷） 三千三百円

雅号証（會長特別授与）

雅号証（肉筆） 一万一千元



認定証・雅号証を希望される方は、事務所へご連絡下さい。

「文華」誌代前納について

「文華」誌は会員の皆様からの前納による誌代によって運営され発刊しております。何卒前納による誌代納入に御協力賜りますようお願い申し上げます。

今後とも安定した「文華」誌発刊の為に一層の御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

あとがき

◆第53回日本の書展茨城展の作品（本會関係のみ）を掲載させていただきました。お陰様で本會は辻いづみの二回目の奨励賞をいただくことができました。偏に審査にあたられた先生方の御厚情の賜と存じます。

◆また、同時併催されました茨城新聞学生書道紙上展の優秀作品も掲載いたしました。

◆後期昇格試験の要項が発表となりました。毛筆部は10月末、硬筆部は9月末となります。又、細字部は8月末です。早めのご準備により対象の全ての方々が受験して自己の向上の為に努力して下さることを祈ります。

◆9月より第一、第三日曜日の15時から銀座の慶花堂さんで教室を開くこととなりました。見学も大歓迎ですのでお気軽にお越し下さい。

◆夏休みは毎年書道パフォーマンスの大会やイベントが多い上、岩手大学への篆刻講義、今年度は副事務局長として読売書法展へなどなど行事が目白押しです。しばらくサンシャインシティで仕事となります。先日うなぎを沢山いただいたので頑張れそうです。

◆暑い日が続いておりますが、熱中症に注意しながらまた元気に次号でお会いいたしましょう。
（敬齋生）

第88回 謙慎書道会展

常任理事
特別賞選考委員

岩村 節廬先生



6 × 5.5

深居以避辱靜安以待時

作品サイズ縦×横 (cm)

事務所へ作品送付の際は必ず封筒に「〇月号競書」、「昇格試験作品」と朱書きするようにお願いいたします。

競書作品の中に昇格試験作品を入れること、またその逆も避けてください。

また、前納による誌代納入にご協力の程をお願いいたします。

発行所 真弓書道會事務所

発行者 辻 敬 齋

略歴

中国西泠印社 名誉社員

(社)日展 準会員

《改組新第7回・第11回日展特選》

読賣書法会 常任理事

《読売準大賞2回》

謙慎書道会 常任理事

全日本篆刻連盟 副事務局長

北斗文會 副理事長

茨城書道美術振興会 副理事長

筑波大学大学院芸術研究科修了

大東文化大学文学部卒業

《書道部幹事長》

〒310 0015 茨城県水戸市宮町一九八・二〇八

TEL 〇九〇・一四二六・五〇二八

FAX 〇二九・二九七・七四六

ホームページ

mayumishodokai.wixsite.com/site/blank



氏名